

まちの話題

鉢伏スキーパトロールが全国1位

3月28日と29日、負傷者搬送や応急処置などスキーパトロールに必要な技術を競う「第24回スキーパトロール技術競技大会」が群馬県のパルコール（まほひ）嬭恋スキー場で開催され、通算8回目の出場となった鉢伏スキーパトロール（米田幸雄隊長、21人）が総合1位に輝きました。

シーズン締めくくる雪まつり

3月7日と8日、冬山シーズンを締めくくる恒例のイベント「鉢伏雪まつり」が八千高原スキー場で開催され、多くのスキーヤーとスノーボーダーが雪の感触と多彩なイベントを楽しみました。

チューブそりでゲレンデを滑走する来場者

7日には、スノーボードクロス大会をはじめ、タイヤのゴムチューブで滑走してタイムを競う「チューブそり大会」、景品つきの餅まき大会など多彩なイベントを開催。また先着500人には、肉団子や地元で採れた野菜を入れたコクのあるスープが特徴のオリジナル鍋料理「鉢伏鍋」が振る舞われました。

翌8日には、鉢伏ジュニアスキーの記録会を開催。選手は、練習の成果を存分に発揮して自らの記録に挑みました。



総合1位に向けて滑走する選手(アキヤポート競技)

選手の杉本隆則さんは「日ごろの練習成果を十分に発揮できた。今後もスキー場の安全を守るため、より技術を高めていきたい」と喜びと抱負を語りました。

この大会は、負傷者を搬送するアキヤポートや三角巾包帯法など4種目で総合成績を競うもので全国から16チームが出場。鉢伏スキーパトロールは、室内競技のロープ操法で3位、同三角巾包帯法で2位、雪上競技のアキヤポートと総合滑降で2位の好成績をおさめ、初めて総合1位を獲得しました。

自作ロボットの動きに一喜一憂

3月1日、子ども達が作った自立型ロボットによるサッカー競技「ロボカップジュニア2009北近畿ノード大会IN養父市」が養父市体育館で行われ、市内外から18チーム36人が出場しました。

同大会は、子ども達にもものづくりの喜びと科学技術への興味を持つてもらうことを目的に行われているものです。

公民館講座などでロボットの制作方法やプログラミングを学んできた子ども達は、自作ロボットの動きに一喜一憂しながら対戦を見守りました。

熱戦の結果、山口起希君（広谷小）と佐木洋太君（八鹿小）のチーム「Tj3」が4位に入賞しました。



自作ロボットを配置して競技開始を待つ選手

第8回 任意整理と特定調停について

借金の整理方法には、「任意整理」「特定調停」「個人版民事再生」「自己破産」の4つの方法があります。

今回はそのうちの「任意整理」と「特定調停」について説明します。

◎任意整理

裁判所を間にはさまずに、直接業者と交渉する方法です。個人が直接交渉することも可能ですが、難しいため法律専門家に依頼するほうが賢明です。法律専門家が受任通知を業者に送付すると取り立てが止まります。

【向いているケース】

- ▼借金をしている額が比較的小さい場合
- ▼引き直し計算（グレーゾーン金利で支払っていた返済額を利息制限法の金利で計算し直すこと）をして借金の減額

が見込まれる場合

【主なメリット】

- ▼当事者間の話し合いによるため、柔軟な返済計画を組めること
- ▼引き直し計算により、借金額の減額が可能なこと

【主なデメリット】

- ▼当事者間の任意の話し合いのため、話し合いに応じない貸金業者に対する強制力が無いこと
- ▼事故情報に登録されるおそれがあること

※借金をしたり、クレジットカードを作ると個人信用情報機関に登録されますが、そこに延滞や債務整理などの事故情報が登録されること。俗に「ブラックリストに載る」と言います。なお、事故情報が登録されると、数年間は新たな借り入れやクレジットカードが作れません。

◎特定調停

裁判所が間に入り、当事者

間の利害を調整する方法です。

【向いているケース】

- ▼借金をしている業者の数が少ない場合
- ▼引き直し計算で借金の減額が見込まれる場合

【主なデメリット】

- ▼返済計画に強制力があり、給与の差し押さえなども止められること
- ▼法律専門家を頼まずにできるので費用が比較的安価で済むこと

【主なデメリット】

- ▼返済計画に強制力があるため、返済が滞るとただちに給与などを差し押さえられること
- ▼過払金が発生していても取り戻せないため、別に返還請求訴訟などの手続きが必要になること
- ▼事故情報に登録されるおそれがあること

消費生活相談窓口

市役所市民課

(☎662-3163)

まちの文化財 54

く伊佐の新田開発



新田開発で造られた用水路

9年）から始まりましたが、円山川に造った伊佐の堰が何度も流されて失敗を繰り返しました。結局、八鹿駅の裏側に堰を造り、伊佐まで約3kmにわたって用水路をひきました。

伊佐の新田開発には、江戸時代の最新技術が使われました。第1は円山川という大きな川に堰を築いたこと、第2は大江山という天井川の川底に箱樋を埋めて用水をくぐらせたこと、第3は伊佐の舟山に108口のトンネル（間歩）を掘って用水路を貫通させたことです。

こうして伊佐小学校の前に広がる水田22畝が開墾できました。費用は銀62貫872匁と記録されています。小判に換算すると約1,250両、賃金に換算すると約57,200人の手間賃になりました。

延宝4年（1676年）3月3日、出石藩主の小出英安侯が、新田開発の視察に訪れました。その時に造られた出石藩主のための休憩所が、現在も伊佐に残る県指定文化財の甘堂亭です。

300年以上も昔に創意工夫を凝らして造られた水路が現在も伊佐の水田を潤しています。私たちの身近なところにも歴史があります。

（教育委員会社会教育課）

新田開発は寛文9年（1669年）